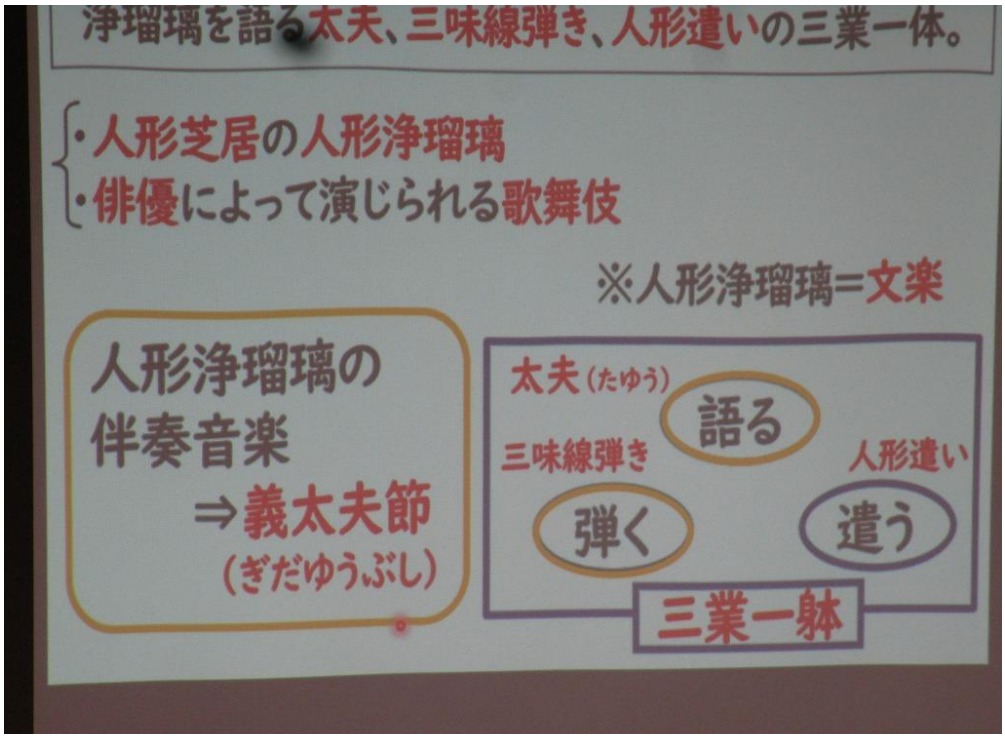
日本の伝統芸能と民俗文化財を学ぶ
～知ればもっと楽しくなる～
人形浄瑠璃文楽

講　師：大阪音楽大学講師・音楽学　北見　真智子先生
日　時：６月 11 日（水）　10：00～11：50



■人形浄瑠璃：江戸時代の庶民文化のもとに成立
①語り物：口で語って聞かせた物語およびこれに類するもの総称
②三味線の祖：中国の三弦（サムシェン）→琉球の三線→16 世紀後半、大坂の堺に渡来
③浄瑠璃とは：16 世紀　三河地方で盲人音楽家の語り物として発生。琵琶や扇拍子を伴奏として語られていた。やがて、矢作の長者の娘・浄瑠璃御前と牛若丸との恋物語を語る「浄瑠璃姫物語」が好評を博す。同じ節回しで他の物語も語るようになる。
17 世紀初め、三味線を伴奏として人形芝居と結びつく→人形浄瑠璃の誕生
④初代竹本義太夫の登場　⑤竹本座　⑥竹本座と豊竹座の競合　⑦人形遣い；三人遣いの始まり、竹本座初演　⑧竹本座・豊竹座の廃座　⑨文楽座の登場　⑩人形浄瑠璃のジャンル

12 世紀頃　人形を操り各地をめぐる集団が現れる
13 世紀頃　「平曲」を語る琵琶法師が現れる
15 世紀頃　語りの芸能「説教節」が流行
15 世紀末　「浄瑠璃姫物語」が成立
16 世紀末　三味線の登場
17 世紀末　浄瑠璃と人形とが結びつき、人形浄瑠璃が成立
1684 年　竹本義太夫が道頓堀に竹本座を創設、近松門左衛門作（世継蘇我）を上演
1685 年　竹本座で近松作（出世景清）上演